

CNES谷戸における水系修復が 生物相に与える影響

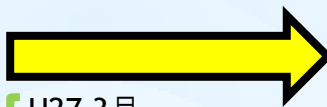
13108028 遠藤孝信
13108092 大福信諒

背景

CNES建設



流水分断
生物種減少
水質悪化が起こる



H27 3月
水質・流量調査
水路施工
実施



CNESにおける諸問題を改善
H27 9月 完成

H25~27 CNESプロジェクト研究により、CNES南側の水系修復



2016年のCNES

本研究では、**汚水路**の水質改善のために
新水路の施工のための基礎資料の収集しつつ、
緑線の水路の施工後のCNESの状態を調査していくことになる

目的

施工によって**水質**、**生物相**などにどのような影響がでるのかを研究活動を通して検証する
調べた影響（特に**悪影響**）に対する改善点を見つけ、水路周辺の**生態系構造**を豊かにしていく



達成するためには・・・

過去のデータを参考にして、どんな影響が現れるかの予測を立てる。
その予測を基にCNES付近の**水生生物**や**水質**の調査、および水路の維持管理を行う。

調査項目と内容

水質調査

CNES内の17地点の水質を調査

生物数調査

網を各調査地点の下流に設置し上流を攪拌して生物を網に誘導し、捕獲



今後の活動計画

水路の水質調査、生物数調査を月に一回の頻度で行う。

四季における水質の比較もするため、細かな成分の調査を

5月、7月、9月、12月に行う。

それと並行して、**赤線**の水路の施工も行う。